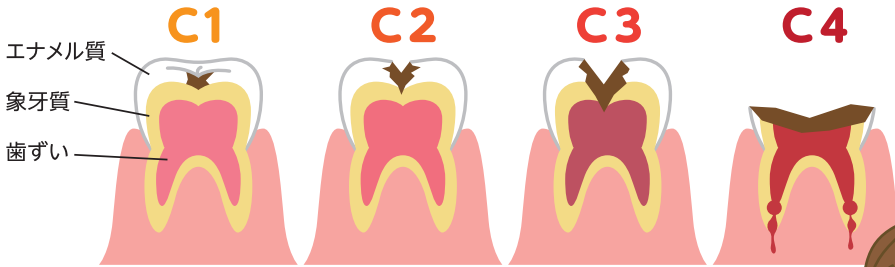


むし歯の治療は、進行すると歯を大きく削ることになり、根の治療は回数がかかることも多いので、日頃から歯医者さんで定期健診を受け、早期発見・早期治療することが大切です。

ママごはん デンタルクリニック

《第10回》 むし歯の進行と 治療の種類

むし歯の進行



むし歯の治療について

小さなむし歯 (C1/エナメル質のむし歯)

中程度のむし歯 (C2/象牙質まで達した状態)

歯に穴が開いた状態で、最小限にむし歯を削った後、樹脂などで詰めます。削る時に痛みが出る場合は、麻酔をすることもあります。

大きなむし歯 (C3/歯髄まで達した状態)

麻酔をして歯を大きく削り、根の中の歯髄(神経)を取り除きます。根の治療後は被せることがほとんどです。



もっと大きなむし歯

(C4/歯の頭の部分が無くなった状態)

ほとんどの場合歯を抜かなければなりません。乳歯をむし歯で早期に失うと、6歳臼歯が倒れてしまい永久歯の歯並びに影響が出ることがあるので注意しましょう。

成長期の子どものにとって、食べることはとても重要です。むし歯による痛みや歯が無くてしっかりかめないと、せっかくの食事が楽しくありません。日頃から歯・口の健康を心がけましょう



協力 / 三重県歯科医師会

〒514-0003 津市桜橋2丁目120番地の2 ☎059-227-6488 (代)

<http://www.dental-mie.or.jp>

日本歯科医師会
PRキャラクター よ坊さん(三重県)

